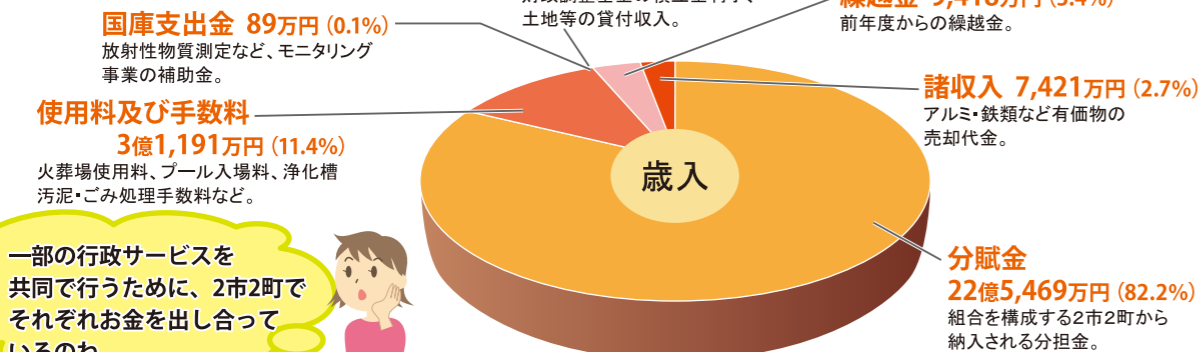


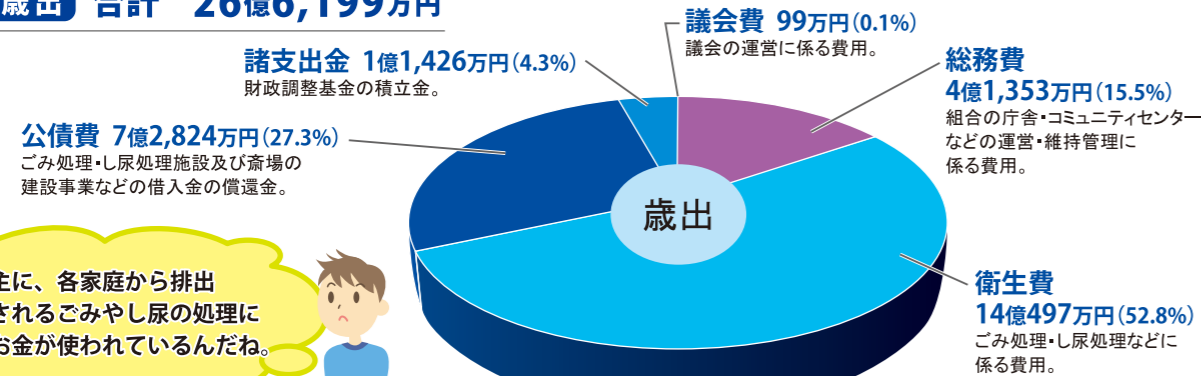
## 平成28年度 一般会計決算

**歳入 合計 27億4,063万円**



一部の行政サービスを共同で行うために、2市2町でそれぞれお金を出し合っているのね。

**歳出 合計 26億6,199万円**

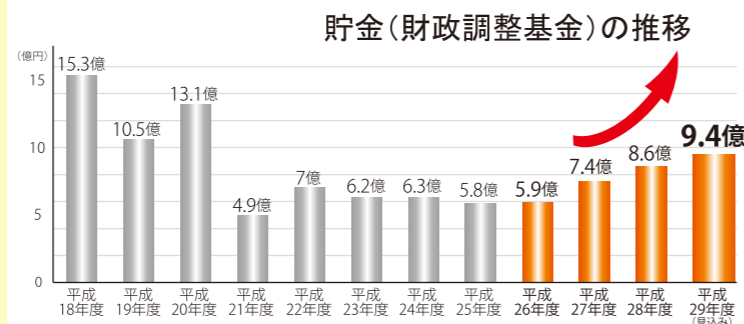


主に、各家庭から排出されるごみやし尿の処理にお金が使われているんだね。

### 貯金(財政調整基金)の推移

**貯金を増やしています**

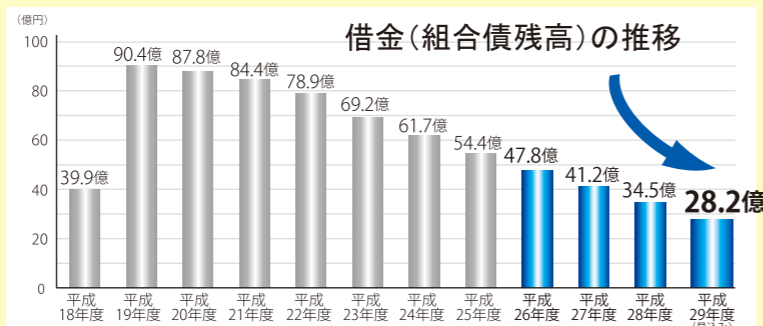
平成25年度⇒平成29年度  
**3億5,962万円増の見込み**



### 借金(組合債残高)の推移

**借金を減らしています**

平成25年度⇒平成29年度  
**26億1,480万円減の見込み**



# 設立55周年を迎えて 「時代と革新」

自然と共存する、魅力あるまちづくりを目指します。

平素より、さしま環境管理事務組合の運営にご理解とご協力を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

はじめに、広報誌「さしま環境」の創刊につきまして、ごあいさつ申し上げます。

この度、当組合は設立55周年を迎え、地域の皆様には改めて組合の活動を知っていただき、より身近に感じていただきたいの思いから、広報誌「さしま環境」を創刊いたしました。広報誌を通じ、組合の最新情報や環境への取り組み、行事などをお伝えするとともに、皆様からいただいたご意見は、安心安全に暮らせる環境づくりに役立ててまいります。広報誌「さしま環境」が地域の皆様と当組合との交流の架け橋になることをお祈り申し上げます。

さて、さしま環境管理事務組合(旧：猿島郡衛生処理組合)は昭和38年に住民の生活環境の向上を目指して郡内町村から成る一部事務組合として設立されました。その後平成14年に新たに岩井市が構成市町に加わり、現在2市2町(境町・五霞町・坂東市・古河市)の構成により一般廃棄物の処理をはじめとした様々な業務に務めております。

近年、人口の増加や生活水準の向上に伴った日常生活に直結したごみ量の増大と質の複雑多様化の傾向にありながらも、21世紀は環境の世紀と言われ、ごみの減量、再利用が重要な課題となりました。

そのような観点から、平成20年稼働の「さしまクリーンセンター寺久」では、ごみ焼却の廃熱を利用して発電をし施設内の電気に役立てるほか、再生利用を推進するためのリサイクル自転車販売会も行っております。また、資源のリサイクルを題材としたリサイクル体験教室も実施しております。

平成27年9月に発生した、関東・東北豪雨災害は、国が激甚災害に指定するほど甚大な被害をもたらしました。こうしたなか当組合は、境町、坂東市、常総市の災害廃棄物を迅速にいち早く受け入れ、地域の方々の生活環境の保全、公衆衛生の悪化を防ぐ為、復旧・復興にむけての大きな役割をはたしました。

これからも、地域の皆様がさらに安心して快適に暮らしていただけるよう、構成市町と共に全職員が一丸となって運営に取り組んでまいりますので、地域の皆様、関係者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



管理者 境町長 橋本 正裕



組合副議長 稲葉 貴大



組合議長 倉持 功



副管理者 古河市長 針谷 力



副管理者 坂東市長 木村 敏文



副管理者 五霞町長 梁谷 森雄